

信号通信
情報

ダイヤ乱れ時の運転再開後の旅客流動 予測手法

明星秀一 杉山陽一 松原広

数十分単位で列車運行が抑止されたとき、旅客の行動の選択肢として①運転再開まで待機する、②迂回経路を利用する、③旅行（移動）そのものを中止することが考えられるが、これらの行動による利用人数の変化を把握することなく運転整理を行うと、作成した整理案の輸送力が過大になったり過小になったりする可能性がある。本研究では、

運転再開後の旅客流動の予測をめざし、ダイヤ乱れが発生した曜日、時間帯、運転抑止時間その他の属性が類似する過去のダイヤ乱れ時のODデータ（発駅と着駅の組合せごとの利用人数）を用いて運転再開後の旅客流動を予測する手法を提案した。また、実際のダイヤ乱れ時の実績データを用いて予測を行い、評価を行った。

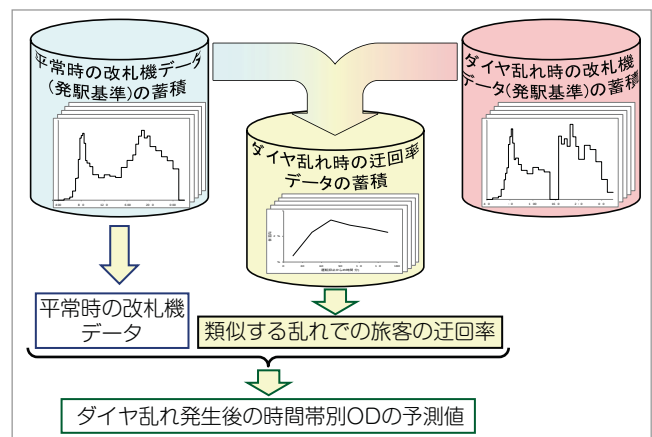


図1 提案する予測手法の概要

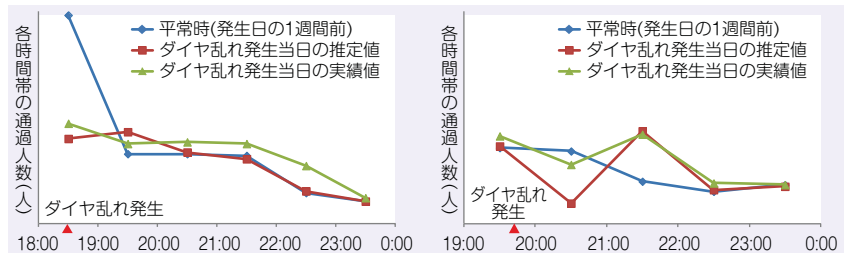


図2 実績に近い予測結果(左)とそうでない予測結果(右)